

# 3月のどきどき

見て聞いて楽しんで

歌や踊りなどの一芸を携え高齢者施設を訪問する町民グループの追分カーネーションが慰問活動をスタートしました。

3月8日、ケアハウスサツクルを訪れた同グループの6名がカラオケや舞踊を披露。アコーディオンに合わせて皆で合唱するなど、会場は一体感に包まれました。



## 重点は情報の伝達

土砂災害警戒区域に指定されている早来栄町にあるグループホームさかえでは、年に2回避難訓練を実施しています。3月13日、同施設と現場が連携し、情報伝達に重点を絞った防災訓練を実施。これまでの訓練とは違い、実際に役場からの避難準備情報発令の伝達やバスを利用した避難者の移送を行うことで、入所者を安全に避難させる流れを確認しました。

## 元気が出るメダリストトーク

オリンピックで銀・銅のメダルを獲得した経験を持つアーチェリーの山本博さんと水泳の中村真衣さんによる講演会が3月23日、追分公民館で開催されました。

世界の頂点を目指す競技に出会ったきっかけや選手を続ける難しさ、そしてオリンピックの裏話などとテーマが変わっても意外と共通点がある二人のやりとりは最後まで訪れた方を楽しませました。



## 一輪車の魅力

早来一輪車クラブが3月25日ケアハウスサツクル・26日早来児童館を会場に演技を披露。

2年前から曲にあわせたダンスに取組み、一人で楽しむ競技を集団でも楽しめるように技を磨いてきた16名の子ども達。昨年の秋には本格的な演技ができるまでに上達したナンバーですが6年生5名にとっては卒業の発表会にもなりました。



平行感覚・反射神経・敏捷性等とスポーツの基礎能力を養える一輪車競技。クラブはみんなで楽しめる活動を続けていきます。

## 地方自治の振興発展に貢献

### 旭日単光章を受賞

#### 飯田精次氏

氏は、昭和43年8月旧追分町議会議員に当選して以来、昭和63年8月まで5期20年にわたり、町の将来のため

交通・運輸・通信などの経験を活かし、議会産業土木経済常任委員会委員として、同委員会の円滑な運営に取組まれました。

特に、昭和52年に設置した消防庁舎建設特別委員会において副委員長として中心的な存在となり、将



来展望を考慮し慎重に審議検討を進められ、昭和55年3月に竣工した消防庁舎建設に貢献された功績は多大であると評価されての受章となりました。